

小学校 5 学年 本時学習指導案

1: 単元名 「日本の水産業」

2: 単元の概略

日本の水産業の特色を知り、よく食べる魚介類がどのような場所で捕られているかを知ることができる。
水産業の学習を通しながら、領海や領域について理解することができる。
現在の日本が抱える水産業の課題を知り、今後の水産業のあり方を考えることができる。

3: 北方領土教育への視点

よく食べる魚、サンマがどの場所でどのようにとられているのか北方領土との関係で知ることができる。(国境・領海が存在)
サンマを捕るためにどのような工夫や苦勞があるのか知ることができる。(拿捕されるサンマ船など)

4: 小単元展開の概要 (全3時間)

第1時：好きな魚やよく食べる魚を発表し、どのような魚がどこで捕れているか知る。
第2時(本時)：サンマ漁が盛んな根室の位置や海流の特色を知る。
第3時：サンマ漁の工夫や課題について知り、今後のサンマ漁のあり方を考えることができる。

5: 本時の展開概要 (第2時)

《主なねらい》 主な学習内容と大まかな流れ	指導上の留意点	使用資料
<p>日本人になじみがあり、自分たちがよく食べる魚である「さんま」はどこでどのようにとられているのか、予想し地図や写真で確認する。</p> <p>学習問題</p> <p>サンマはどんな場所でどのように捕られているのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 水揚げが多いのは北海道の根室や銚子など サンマは北から徐々に下ってくる魚 北海道でも根室近くが一番多い <p>どのような船や方法でサンマを捕っているのか知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きさは普通 灯りを使ってサンマを捕っている 大きなホースで網にかかった魚を吸い込み、その後すぐに氷をかけ鮮度が落ちないように工夫している <p>サンマ漁の苦勞や工夫を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 鮮度が大切 水揚げ高が減っている 値段の変動が激しい。(原油高などの影響を受ける) 漁場に問題がある 命がけでサンマを捕っていることを知る。 ロシアとの関係 	<ul style="list-style-type: none"> グラフから北海道や銚子で良く捕られていることを確認させる。 北海道の中でもサンマが多く捕られている場所を地図から読み取らせる。 サンマ船について写真を見ながら一般的な船との違いやバキュームを使い氷をかける設備に目を向けさせる。 鮮度や漁獲高、魚離れや、原油高の影響を受けやすい、また他の地域と違い「拿捕」の恐怖にさらされている現状があることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地図帳 全国の漁港のサンマ漁獲高のグラフ (インターネット等で検索) 北方領土の地図(根室と北方領土の位置関係が分かる地図) サンマ漁船の写真 (インターネット等で検索可能) 原油高騰のグラフ (インターネット等で検索) 漁獲高の推移 (インターネット等で検索) 魚離れの記事 (インターネット等で検索) 拿捕の記事 (インターネット等で検索)

6:使用資料や解説

- ・サンマの漁獲量グラフ
- ・北方領土と北海道の位置関係が分かる地図
- ・サンマ漁の船の写真
- ・サンマ漁で拿捕された方の話やニュース
- ・北方領土に残されている没収されたサンマ漁の船

水産庁HPなどで漁獲量などのグラフは検索可能

「魚離れ」の事実（2007年）は「水産庁」や「水産白書」で検索可能

魚種別の国内生産量の推移は水産庁や各漁港のHPで検索可能

北方領土問題対策協会HP（北方領土の位置関係が分かる地図）



サンマ船の写真・「サンマ漁」「サンマ船」などのキーワードを使いながらインターネットで検索可能



サンマ船拿捕の話	2007年6月	第88	豊進丸
かに籠漁拿捕の話	2006年8月	第31	吉進丸
〃	2006年1月	第38	吉丸（いずれもインターネットで新聞記事を検索可能）